

保育園評価（自己評価）				
	目標	達成度 (11月)	達成度 (3月)	評価(11月)
子どもへの かかわり について	一人ひとりの健康状態や発達について把握し、異常に気付くことができている。	A		登園時、一人一人の表情や様子を確認し、健康や発達に留意している。
	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築くことができている。	B		スキンシップを取るにより、子どもが安心して生活できる場を築いている。
	生活に必要な基本的習慣や態度を身に付けることができている。	B		学年に応じた生活習慣が身につくよう促している。特に食事・排泄に関わることに重点を置いている。
保護者支援 について	保護者に口頭や文章で正確に伝達できている。	B		園便り、クラス便りの他に、クラスのホワイトボードを導入し、伝達がスムーズに行われるようになってきている。
	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている。	B		今年度は、コロナウイルスに関する啓発が多くあり、他の事に対する啓発が少なくなってしまっている。
	子どもの虐待等に関する知識、連携連絡機関について適切なアドバイスができる。	C		全職員が共通しての認識がなかなか図ることができていない。
園の運営 について	職員相互がそれぞれ全体の立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっている。	B		職員間で学年ごとの関わり方等を、教えあう事ができている。
	資料（諸記録）を集積している。	A		資料、記録は保管し、過去1年分はすぐに取り出せるようにしている。
	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	B		避難訓練は毎月行えているが、外部講師を招いての研修は今年度行えていない。
	乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	B		家庭との連携はかなり密に出来ているが、関係機関との部分で適切に行えていない。
資質の向上 について	挨拶・来客・電話等の対応ができている	A		子どもや保護者に対して積極的に挨拶ができている。電話での対応や、来客に対する対応もできている
	互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っている。	B		一人一人の発達に応じた援助を行っている事を会議の場で共通認識を計れるようにしている。
	各種研修に参加し、研修の成果を保育に反映させている。	C		研修受講後に園内でその研修のフィードバックを行う事ができていない。
総合評価（反省・次年度への課題）				
<p>子ども。保護者だけでなく、職員間でもコミュニケーションを積極的にとれるような機会を設け、園全体での共通認識をしっかりと確定させる。</p> <p>安心安全な保育環境を整備する。</p> <p>研修の成果を保育に生かせるよう、必要な研修を再度確認し、受講を促すと共に、その研修内容を職員間で共有できる場を設ける。</p>				

*達成度に応じてA～Cの3段階で評価する